

## 授業に関するアンケート（2017 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
英語英文学科

### （1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。	どの科目においても、評価平均値がかなり高かった。シラバス重視の在り方が教員に浸透している成果であろう。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。	おおむね実行されている。評価平均値も高かった。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。	おおむね良好であった。レベルが合っているかどうかの基準は、習熟度別クラスのような場合は別にして、学生によって反応が異なるので、この質問事項による評価の判定は難しいという感想を持った。
4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。	おおむね良好であった。ただし、講義モノと演習モノ（例：ゼミ）の違いによって、あるいは小さなクラスでも双方向的な授業が運営しにくい場合もあるので、学生の評価が異なるのは当然かと思われる。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。	おおむね実行されていた。ただし、講義モノ（大教室）で提出物のフィードバックをするのは、受講生人数、授業内容によって、難しいかもしれない。しかし、講義科目の担当教員は今後も工夫したいと報告しているので有り難い。
6. 言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。	おおむね良好であった。講義モノ（大教室）の授業ではやや難しいようだが、全学評価平均よりも、学科平均はやや高かった。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。	おおむね良好であった。この項目は、全設問 14 項目の中で、全学評価平均が下から 2 番目に低い数値であったが、学科はそれをやや上回っていた。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。	教員のコメントを見ると、「教科書の使い方」、「大教室でも出欠席・遅刻を正確にとってほしい」、「公平性」、「パワーポイントの工夫」、「ハンドアウトの工夫」、「話し方」を教員は取り上げていた。今後の授業改善のために、教員は工夫を試みるようだ。

### （2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。	全学で 0.83、学科で 0.98 であったが、1 科目平均で 1 時間弱という数値が短いとみるのか、平均的とみるのかの判断が難しい。科目内容によっても異なるし、教員の要求度によっても異なるからだ。しかし、アンケート設問にこの項目があるのは、教員にとっては、学生の授業評価結果を俯瞰するための重要な参考資料になる。
--	---

10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
この設問項目は、全学平均（2.52）と学科平均（2.53）を見ると、14問の設問の中で最も評価平均値が低いことがわかる。授業形態、授業内容、受講人数に応じて、積極的に意見を述べることができない（その必要性がそれほどない）科目もあるので、教員のコメントの中でも、この設問には違和感を持っているようだ。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
おおむね良好であったが、この項目は、学生の自主学習の時間に比例するように思われる。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
必修科目以外の選択科目について、履修した「選択の理由」が、「授業内容」「授業方法」「英語で実施」の回答が多かったのは妥当な回答であると思う。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
良好であった。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
ほぼ良好であった。この設問項目も、学生の自主的な学習時間の長さに比例しているようだ。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。
どの科目も、科目内容の趣旨に応じて、妥当な回答を得られていると思う。

(4) その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>英語英文学科の場合、習熟度別クラスの場合は、全体的に評価平均値が高い傾向があった。語学を学ぶ場合は、特に学生のモチベーション、自主的な学習時間数、各自の努力等が授業評価に大きく影響することがわかった。これは想定内の結果とも言える。</li> <li>受講人数が少ないと全般的な満足度が高くなり、受講人数が多いと（大教室）、全般的な満足度はやや低くなる傾向がある。同時に、必修科目、選択必修科目、選択科目の違いも、学生の授業評価に反映されるようだ。これも想定内の結果と言える。</li> </ul>
---

教育開発支援センター